

【特 集】

朝日大学健康スポーツ科学科の新旧カリキュラムについて

山本英弘*¹ 菅嶋康浩*¹ 竹島伸生*¹

I. はじめに

朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科は、2017年4月に開設され、2021年3月を以って完成する。新年度からは、新しいカリキュラムがスタートする。そこで本稿では、旧カリキュラムと新カリキュラム（さらに詳細な検討は続く）を取り上げ、本学科の目指すスポーツ科学における教育研究の質的向上を図る方法について議論したい。これまでに設置準備室で企画した旧カリキュラムと修正を図った新カリキュラムに関わったことから経緯も含めてまとめてみたい。

II. 旧カリキュラムの現状と問題点

2017年4月本大学の建学の精神に則り、本学科は研究対象とする中心分野を健康科学及びスポーツ科学の分野とし、これに関連する教育研究を通して、健康科学やスポーツ科学に関する専門知識並びに高度なスポーツ実践技能及び指導技術さらに社会人としての豊かな学識と社会的技量を修得し、高い倫理観と豊かな人間性と国際性を兼ね備え、社会に貢献できる人材を養成することを目的として作られた。そして、その教育目的を達成するために、1) オールラウンドなスポーツ実践能力、2) ライフステージに応じたスポーツ指導力、3) 健康やスポーツを科学的視点から捉える思考能力、4) スポーツにおける企画及び管理・運営能力を育てるという目標を掲げてスタートとしている。

また、本学科が養成する人材としては、1) 中学校・高等学校の保健体育教員の養成、2) ライフステージに応じた指導のできる人材の養成、3) 地域のスポーツを支える人材の養成を目指している。こうしたことから、教育課題の編成では、健康やスポーツに関する知識、技術、技能を習得させることを目標に、必要な授業科目を体系的に編成し、講義、演習、実技、実験、実習を適切に組み合わせた授業を開講してきた。

教育課程は、「教養基礎科目」、「専門教育科目」および「教職課程科目」に区分して編成することとし、区分ごとに必要な授業科目を配置した。設置申請時の教育課程は表1に示す通りであり、その概要を以下に示す。

1. 教養基礎科目

教養教育については、平成14(2002)年4月中央教育審議会の答申「新しい時代における教養教育の在り方について」を踏まえ、学生には、主体的により高いものを目指していくことを意識した知的訓練に取り組む姿勢を身に付けさせるとともに、社会人としての高い倫理観と豊かな人間性と国際性を身に付けることを目的に、「人と文化」、「人と環境」、「人と関わり」、「総合」に分けて教育することとし、授業科目は必修科目7科目、選択科目19科目を次のように区分ごとに配置した。

- 1) 人と文化 (7科目 14単位：必修2単位、選択12単位)
- 2) 人と環境 (4科目 8単位：選択8単位)
- 3) 人と関わり (9科目 12単位：必修4単位、選択8単位)
- 4) 総合 (6科目 8単位：必修2単位、選択6単位)

受付日 2020.11.30

*1 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科

2. 専門教育科目

専門教育科目については、「オールラウンドなスポーツ実践能力」、「ライフステージに応じた指導能力」、「健康やスポーツを科学的視点から捉える思考能力」、「スポーツにおける企画及び管理・運営能力」を身に付けさせ、健康やスポーツに関する知識・技術・技能を修得させるために、「導入科目」、「基礎科目」、「基幹科目」、「健康科学科目」、「スポーツ科学科目」、「共通」に分け、それぞれに必要な授業科目を配置した。

1) 導入科目 (2科目 4単位：必修 4単位)

スポーツ科学に対する興味を深めるとともに、スポーツ科学の全体像を理解させ、また、中学校・高等学校の保健体育教員、スポーツ指導者あるいはスポーツリーダーとしての能力を高めるための知識を身に付けさせることを目的に授業科目を配置した。

2) 基礎科目 (13科目 26単位：必修 26単位)

大学という新たな環境への適応をサポートするための科目及び本学科の教育上の目的を達成するための健康スポーツ科学の基礎となる授業科目を配置した。

3) 基幹科目 (29科目 48単位：必修 42単位、選択 6単位)

オールラウンドに実技をこなせる保健体育教員に必要となる実技科目やスポーツ指導者として科学思考能力を向上させるために必要となる授業科目を配置した。また、本大学が連携協定を締結している諸団体でのスポーツイベントの運営やスポーツの指導あるいは教育に関わる就業体験の機会を与え、学問にとどまらず実際の指導や教育の現場を体験することで、学生生活における方向付けや将来のキャリアプランに役立てることができるよう授業科目を配置した。

4) 健康科学科目 (17科目 30単位：選択 30単位)

地域の指導者やスポーツクラブでのインストラクターを目指す学生にとって必要な資格取得のため、あるいはスポーツを通じて地域に貢献しうる人材としての知識を修得するために必要となる授業科目を配置した。特に、本学科が養成したい人材の一つである「ライフスタイルやライフステージに応じた指導のできる人材」を目指して、健康に関する知識のみならずスポーツ医科学に関する幅広い知識を学び、健康づくりに必要な安全で効率的な健康増進やトレーニングの指導方法を学ぶことを目的に、さらには、健康に関する指導者資格取得に関わる科目も配置した。

5) スポーツ科学科目 (17科目 30単位：選択 30単位)

「体育学の専門知識及び高度なスポーツ実践技能を兼ね備えた保健体育教員の養成」を目指して、子どもたちの心身の発育発達と健康の成長を支える知識を身に付け、さらに、多彩な実技に精通した保健体育教員となるために必要となる授業科目を配置する。

6) 共通 (1科目 4単位：必修 4単位)

2年次から始まった「専門演習Ⅰ～Ⅵ」の集大成となる授業科目として「卒業研究」を配置し、専門演習指導教員の下での学びにおいて、健康やスポーツに関する研究テーマを自身で見つけ、成果物として完成させることを目的とした。

3. 教職課程科目

中学校及び高等学校の保健体育の教員免許状取得を目指す者のために、教育職員免許法施行規則に定める授業科目を次のとおり配置した。

1) 教職に関する科目 (19科目、37単位)

①教職共通開設科目

「教職入門」「教育原理」「教育心理学」「教育制度論」「教育課程論」「道徳教育の指導法」「特別活動の指導法」「教育の方法と技術」「生徒・進路指導論」「教育相談」「教育実習指導」「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教職実践演習(中・高)」「介護等体験」

②本学科のみの開設科目

「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」

③教科に関する科目（18科目、27単位）＜本学科の専門教育科目の中で、教科に関する科目として認定する科目＞

「スポーツ実技Ⅰ～Ⅷ、Ⅸ、Ⅹ」、「体育・スポーツ哲学」、「メンタルマネジメント（含、スポーツ心理学）」、「スポーツ経営・管理学」、「スポーツ社会学」、「運動学（含、運動方法学）」、「運動生理学」、「衛生・公衆衛生学」、「学校保健」、「スポーツ医学」。

④施行規則第66条の6に定める科目（8科目、10単位）＜本学科の教養基礎科目の中で、施行規則第66条の6に定める科目として認定する科目＞

「法学（含、日本国憲法）」、「健康・体力科学」、「スポーツⅠ」、「スポーツⅡ」、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「情報処理基礎Ⅰ」、「情報処理基礎Ⅱ」。

これらの教育過程の下、卒業要件としては、4年以上在学し、必修科目84単位、選択科目40単位以上（教養基礎科目から18単位以上、専門教育科目から22単位以上）を修得し、124単位以上を修得すること。スポーツ実技Ⅺ（スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ）を履修する場合には1種目を選択履修すること。スポーツ心理学実験演習、スポーツ生理学実験演習、スポーツ社会学実験演習、スポーツバイオメカニクス実験演習の4科目から2科目を選択履修することが決められている。ちなみに、以上の本学科のカリキュラムの概念を示したものが図1である。

この本学科のカリキュラムは、必修科目が多いことから入学した学生がほとんど同じ授業を学んでいくということが特徴という見方ができる。しかし、設立から4年間を振り返ると、学生の将来の進路希望は教職、企業、公務員に加えてスポーツ競技者や指導者などへの展開を希望するなど個人差が大きく、このために一人一人の興味や嗜好に対しても授業科目を選択する必要性や考慮を要することが明らかとなり、学科完成後のカリキュラムにおいて修正することが求められた。また、進級要件においても1年次終了時までに30単位以上、2年次終了時までに60単位以上、3年次終了時までに90単位以上の単位修得が必要であり、他学部と比較して進級要件が高く設定された。このため、1年次から留年が確定してしまう学生もいた。また、履修登録においても必修科目が多いため複数の未修得単位がある場合、進級要件に必要な単位の修得が困難な場合もある。これらの点からもカリキュラムの修正が求められた。

Ⅲ. 新カリキュラムの構想と課題

2019年10月より大友学長との面談により健康スポーツ科学科の将来構想の話し合いがあり、その中で学生のニーズや受験生の確保などを考えると現状のカリキュラムをさらに工夫する必要性が示唆された。専攻コースを作ることで、学習する内容や将来の方向が明確になり、向学心が高まることが期待できるのではないかというメリットがあることや、授業科目数の増加やコース別の至適教員配置などスタッフの能力の施設の不足なども憂慮されることなどが議論された。さらに新カリキュラムを開始するまでに時間が限られているという課題もあった。こうした検討の結果、固定するものではないが、学科内専攻を設置し、学生が将来の目標を明確にすることが可能となることや、専門性をさらに伸ばすという視点から3専攻、1) 教員養成専攻は、「学校体育授業における多様なスポーツ分野の知識と技術を学ぶプログラム」、2) 健康・スポーツマネジメント専攻は、「スポーツ産業における企画運営や総合型地域スポーツクラブの設立運営などの分野に必要な知識と技術を学ぶプログラム」、3) 競技スポーツ科学専攻は、「競技力向上やコーチングに特化した知識と技術を学ぶプログラム」の設置案がまとまった。

この専攻は、固定された縦割りではなく、学生が年次ごとに変えることも可能となっている。必修科目についても現行より少なくし、専攻ごとに履修上で自分の学びのコースを決めるということである。

現在までに承認されている授業科目とコースにおける学びについては、表2に示す通りである。今回の改正においては、完成年度を迎えて必修科目の見直し（選択科目への変更）を主課題とし、科目の廃止及び

新規科目の配置(表中新規欄「*」)を含めて検討した。その結果、必修科目は現行カリキュラムの84単位(48科目)及び選択必修科目2単位(2科目)の計86単位から新規カリキュラムの34単位(18科目)及び選択必修科目2単位(1科目)の計36単位と減らし、選択の幅を広げることができた。なお、進級要件においても、1年次から2年次への進級要件を撤廃し、2年次終了時まで60単位以上、3年次終了時まで90単位以上と改正した。また、新規科目として、従来「スポーツ実技XI(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)」として開講し、3種目中1種目の選択しかできなかった科目を3つの科目に分け、「野外スポーツI~III」として新設した。さらに、それぞれの専攻の特徴を考慮した上で、演習科目を主体に新規科目として配置した。さらには、科目区分の見直しも検討し、従来の「導入科目」、「基礎科目」、「基幹科目」、「健康科学科目」、「スポーツ科学科目」を『総合科目』、『実技科目』、『人文社会科学』、『自然生命科学』、『医歯薬科学』と改め区分内の科目の内容がイメージできるような区分名を変更した。また、新たに設置された専攻での推奨科目を提示(表中专攻欄「推」)することにより、学生に対して学びの指針を提示できたといえる。

一方、新カリキュラムにおいても学位授与方針は現行のままである。卒業要件に必要な単位数は変更していない。また、実技、演習を増やすとともに各専攻で必要とみられる内容を吟味し、年次配当も含めて検討し、学びが基礎から専門へと高められるように工夫している。

新カリキュラムは、学生のニーズや将来の就職も含めて適切な教育や学びを受けられるように配置しているが、以下に示すように課題が山積しており、一つずつ解消すべき検討が求められている。

今後の検討課題

1. ディプロマポリシー(DP)と新カリキュラムの整合性と授業の年次配置
2. 各専攻における授業科目の内容の精査と連携、開講時期の妥当性の検討
3. 講義、実技、実験実習の組み立て、大学施設利用の視点からみた授業配置の妥当性
4. 新型コロナに対応した授業体制のあり方

とりわけ、現在、新カリキュラムとディプロマポリシー(DP)の繋がりをより明確にするため、DP実現のための年次到達目標を立て、学科共通あるいは専攻ごとの方向性(カリキュラムツリー、履修モデル)の具体化を図っている。その一つが1年次から4年次まで行われるゼミ授業(基礎演習、専門演習)に一貫性を持たせ、学科の特色を反映することである。もう一つは学科の特色を象徴したイベントづくりである。「スポーツを知る、する、仲間を作る」あるいは「体力を知る、測る、評価できる」など本学科で学ぶ学生の基礎をなすイベントの開催を検討している。ほかにも取り組むべき課題はあるかと思うが、まずはこうしたことを改善しながらよりよい教育体系を作っていきたい。

表 1 旧カリキュラム 教育課程の概要

教育課程等の概要																
(保健医療学部健康スポーツ科学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養基礎科目	人と文化	建学の精神と社会生活	1 前	2			○								兼5	オムニバス
		哲学	1・2・3・4 前	2			○								兼1	
		歴史学	1・2・3・4 後	2			○								兼1	
		心理学	1・2・3・4 前	2			○								兼1	
		法学(含、日本国憲法)	1・2・3・4 後	2			○								兼1	
		政治学	1・2・3・4 前	2			○								兼1	
		経済学	1・2・3・4 前	2			○								兼1	
	人と環境	物理学	1・2・3・4 前	2			○								兼1	
		化学	1・2・3・4 前	2			○								兼1	
		生物学	1・2・3・4 後	2			○								兼1	
		統計学	1・2・3・4 後	2			○								兼1	
	人と関わり	異文化理解	1・2・3・4 後	2			○								兼1	
		コミュニケーション論	1・2・3・4 後	2			○								兼1	
		プレゼンテーション論	1・2・3・4 後	2			○								兼1	
		英語Ⅰ	1 前	1				○			1				兼2	
		英語Ⅱ	1 後	1				○			1				兼2	
		英語コミュニケーションⅠ	1 前	1				○			1				兼2	
		英語コミュニケーションⅡ	1 後	1				○			1				兼2	
	英語コミュニケーションⅢ	2 前	1				○			1				兼2		
	英語コミュニケーションⅣ	2 後	1				○			1				兼2		
	総合	健康・体力科学	1・2・3・4 後	2			○								兼1	
		スポーツⅠ	1・2・3・4 前	1									4		兼1	
		スポーツⅡ	1・2・3・4 後	1									4		兼1	
		情報処理基礎Ⅰ	1 前	1				○		1					兼2	
		情報処理基礎Ⅱ	1 後	1				○		1					兼2	
		情報リテラシー	2 前	2			○			1					兼2	
小計(26科目)		-	8	34	0	-			1	1	0	4	0	兼21	-	
導入科目	スポーツ科学入門	1 前	2			○				1						
	リーダーシップ論	1 後	2			○			1							
小計(2科目)		-	4	0	0	-			1	1	0	0	0	兼0	-	
専門教育科目	基礎科目	基礎演習Ⅰ	1 前	2				○		6	7		5			
		基礎演習Ⅱ	1 後	2				○		6	7		5			
		運動生理学	1 前	2			○			1						
		スポーツと薬学	1 前	2			○								兼2	オムニバス
		解剖・生理学	1 前	2			○								兼1	
		体育・スポーツ史	1 前	2			○								兼1	
		運動学(含、運動方法学)	1 後	2			○			1						
		体育・スポーツ哲学	1 後	2			○				1					
		ヘルスプロモーション	2 前	2			○			1						
		スポーツ医学	2 前	2			○			1						
		メンタルマネジメント(含、スポーツ心理学)	2 前	2			○			1						
		スポーツ歯科医学	2 後	2			○								兼3	オムニバス
		スポーツ経営・管理学	2 後	2			○						1			
小計(13科目)		-	26	0	0	-			6	7	0	5	0	兼7	-	

教 育 課 程 等 の 概 要

(保健医療学部健康スポーツ科学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基幹科目 専門教育科目	専門演習Ⅰ	2前	2				○		5	6		5				
	専門演習Ⅱ	2後	2				○		5	6		5				
	専門演習Ⅲ	3前	2				○		5	6		5				
	専門演習Ⅳ	3後	2				○		5	6		5				
	専門演習Ⅴ	4前	2				○		5	6		5				
	専門演習Ⅵ	4後	2				○		5	6		5				
	スポーツ実技Ⅰ (体づくり運動)	1前・後	1					○			2					
	スポーツ実技Ⅱ (水泳)	1前・後	1					○					2			共同
	スポーツ実技Ⅲ (器械運動)	2前・後	1					○	1					兼1		共同
	スポーツ実技Ⅳ (陸上)	2前・後	1					○	1	1		1				オムニバス
	スポーツ実技Ⅴ (ラグビーフットボール、サッカー)	2前・後	1					○	1	1						オムニバス
	スポーツ実技Ⅵ (ハンドボール、ソフトボール)	2前・後	1					○				1		兼1		オムニバス
	スポーツ実技Ⅶ (バレーボール、バスケットボール)	3前・後	1					○	1	1		1				オムニバス
	スポーツ実技Ⅷ (硬式テニス、卓球)	3前・後	1					○			1			兼1		オムニバス
	スポーツ実技Ⅸ (柔道、剣道)	3前・後		1				○	1					兼1		オムニバス
	スポーツ実技Ⅹ (ダンス)	3前・後		1				○						兼1		オムニバス
	スポーツバイオメカニクス	2前	2				○				1					
	スポーツ生理学	2前	2				○				1					
	トレーニング論	2前	2				○				1					
	コーチング論	2前	2				○				1					
	コンディショニング論	3前	2				○				1					
	スポーツ社会学	3前	2				○						1			
	衛生・公衆衛生学	3前	2				○							兼1		
	スポーツ栄養学	3後	2				○						1			
	スポーツと法	3後	2				○							兼2		オムニバス
	インターンシップⅠ	2前・後		2					○	5	6		5			
	インターンシップⅡ	3前・後		2					○	5	6		5			
	キャリア形成Ⅰ	2前・後		2					○	5	6		5			
	キャリア形成Ⅱ	3前・後		2					○	5	6		5			
小計 (29科目)		-	42	6	0		-		5	6	0	5	0	兼8	-	
健康科学科目	生涯スポーツ論	2前		2			○			1						
	エイジング論	2前		2			○			1						
	障がい者スポーツ論	2前		2			○							兼1		
	障がい者スポーツ論実習	2後		1				○						兼1		
	健康運動論	3前		2			○			1						
	女性とスポーツ	3前		2			○				1					
	アスレティックトレーナー概論	3前		2			○				1					
	レクリエーション論	3前		2			○			1						
	健康運動指導法	3前		2			○				1					
	スポーツ産業論	3前		2			○			1						
	スポーツマネジメント	3後		2			○					1				
	アスレティックリハビリテーション論	3後		2			○					1				
	レクリエーション指導実習Ⅰ	3前		1					○	1	1					共同
	レクリエーション指導実習Ⅱ	3後		1					○	1	1					共同

朝日大学健康スポーツ科学科の新旧カリキュラムについて

教育課程等の概要																
(保健医療学部健康スポーツ科学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
健康科学科目	野外活動論	3後		2		○				1						
	体力測定評価法	3後		2		○								兼1		
	スポーツ実技XI (スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	3前・後		1				○	5	5		5		共同集中		
	小計 (17科目)	-	0	30	0	-			5	5	0	5	0	兼2		
専門教育科目	健康科学科目	運動器の機能解剖学	2前		2		○			1						
		スポーツ科学英語	2前		2		○			1						
		スポーツ教育学	2前		2		○			1						
		発育発達論	2後		2		○			1						
	スポーツ科学科目	スポーツ心理学実験実習	3前		1				○	1	1				共同	
		スポーツ生理学実験実習	3前		1				○		2				共同	
		スポーツ社会学実験実習	3後		1				○	1	1		1		共同	
		スポーツバイオメカニクス実験実習	3後		1				○	1	1		1		共同	
		スポーツ行政論	3前		2		○						1			
		安全教育	3前		2		○			1						
		学校保健	3後		2		○			1						
		体育実技指導法Ⅰ (陸上・水泳)	3後		2			○		1						
		体育実技指導法Ⅱ (球技)	3後		2			○		1						
	体育実技指導法Ⅲ (格技)	3後		2			○			1						
	体育実技指導法Ⅳ (器械運動)	3後		2			○		1							
	体育実技指導法Ⅴ (ダンス・体づくり運動)	3後		2			○			1						
	スポーツオノマトペ	3後		2		○				1						
小計 (17科目)	-	0	30	0	-				5	6	0	2	0	兼0		
共通	卒業研究	4通	4					○	5	6		5		-		
小計 (1科目)	-	4	0	0	-				5	6	0	5	0	兼38		
教職課程科目	教職に関する科目	教職入門	1前		2	○									兼1	
		教育原理	1後		2	○									兼1	
		教育心理学	2後		2	○									兼1	
		教育制度論	2後		2	○									兼1	
		教育課程論	2前		2	○									兼1	
		保健体育科教育法Ⅰ	3前		2	○				1						
		保健体育科教育法Ⅱ	3後		2	○					1					
		保健体育科教育法Ⅲ	3前		2	○					1					
		保健体育科教育法Ⅳ	3後		2	○					1					
		道徳教育の指導法	3前		2	○										兼1
		特別活動の指導法	3後		2	○										兼1
		教育の方法と技術	2後		2	○										兼1
		生徒・進路指導論	2前		2	○										兼1
		教育相談	2後		2	○										兼1
教育実習指導	3前		1	○										兼3		

教育課程等の概要														
(保健医療学部健康スポーツ科学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教職課程科目	教育実習Ⅰ	3後			2			○						兼3
	教育実習Ⅱ	4前			2			○						兼3
	教職実践演習(中・高)	4後			2		○							兼2
	介護等体験	2・3・4前・後			2			○						兼1
	小計(19科目)	-	0	0	37				1	1	0	0	0	兼4
	合計(124科目)	-	84	100	37				7	7	0	5	0	兼42
学位又は称号	学士(健康スポーツ科学)		学位又は学科の分野			体育関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
4年以上在学し、必修科目84単位、選択科目40単位以上(教養基礎科目から18単位以上、専門教育科目から22単位以上)を修得し、124単位以上を修得すること。 スポーツ実技XI(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)を履修する場合は、1種目を選択履修すること。 スポーツ心理学実験実習、スポーツ生理学実験実習、スポーツ社会学実験実習、スポーツバイオメカニクス実験実習の4科目から2科目を選択履修すること。 (履修科目の登録の上限:44単位(年間))						1学年の学期区分			2学期					
						1学期の授業期間			15週					
						1時限の授業時間			90分					

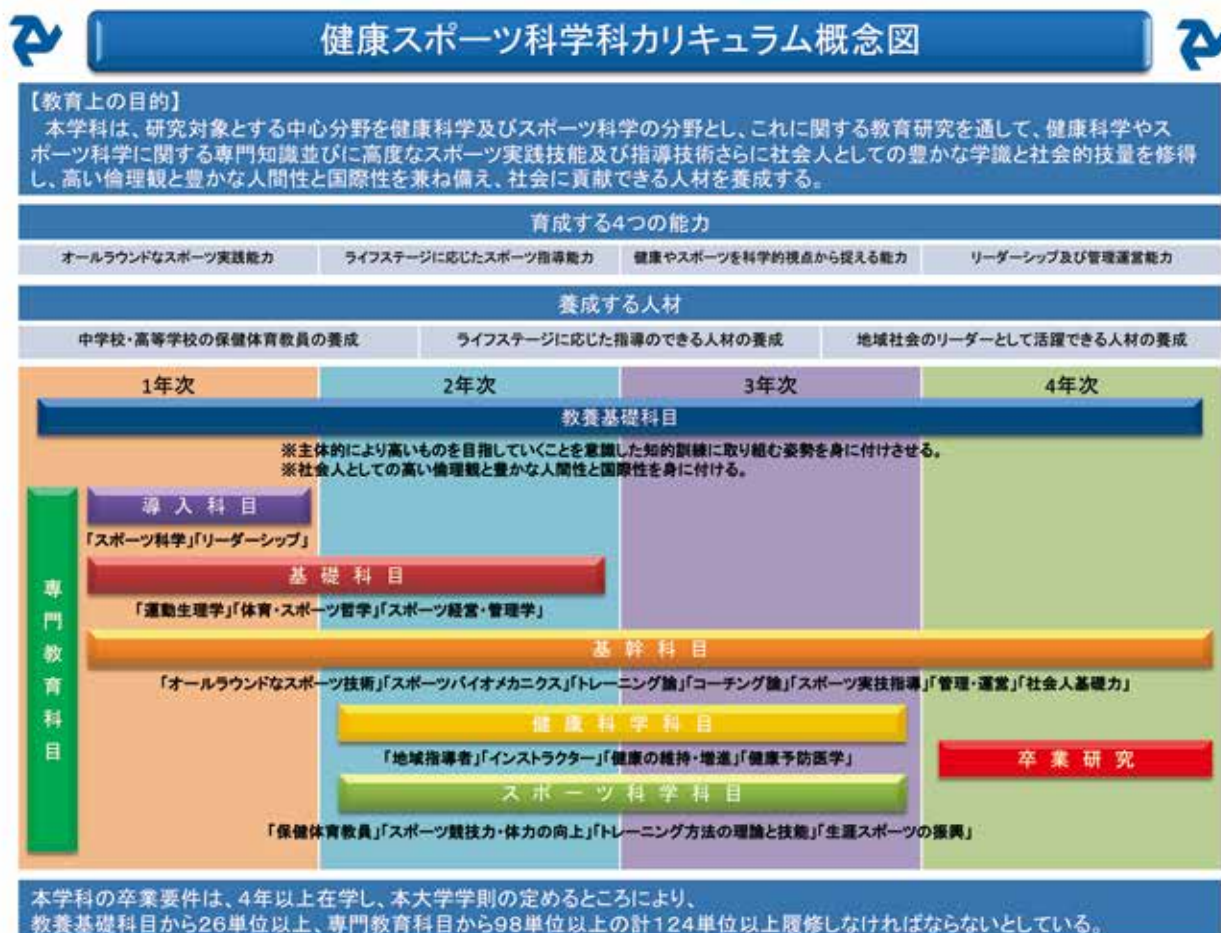


図1 健康スポーツ科学科カリキュラム概念図

表2 新カリキュラム開講科目

科目区分	新規	授業科目名	単位	開講学年				開講学期	専攻		
				1年次	2年次	3年次	4年次		教員養成	健康・スポーツ マネジメント	競技スポーツ科学
総合		卒業研究	4				◎	通	◎	◎	◎
総合		専門演習V	2				◎	前	◎	◎	◎
総合		専門演習IV	2				◎	後	◎	◎	◎
総合	*	保健体育教職特別講義	2					前	推		
人・社		スポーツマネジメント	2					前		推	推
人・社		スポーツ産業論	2					後		推	
人・社		体力測定評価法	2					後		推	
人・社		スポーツ行政論	2					前		推	
人・社		スポーツ社会学	2					前	教※	推	
人・社		スポーツと法	2					後		推	推
自・生		健康運動論	2					前		推	
自・生		スポーツオノマトペ	2					後			
自・生		コンディショニング論	2					前	推	推	推
医系		女性とスポーツ	2					前			
医系		アスレティックトレーナー概論	2					後		推	
医系		アスレティックリハビリテーション論	2					後		推	推
医系		学校保健	2					後	教		
医系		安全教育	2					後	推		
医系		衛生・公衆衛生学	2					前	教	推	
実技		スポーツVII (バレーボール、バスケットボール)	1					前・後	教□		推
実技		スポーツVIII (硬式テニス、卓球)	1					前・後	教□		推
実技		スポーツIX (柔道、剣道)	1					前・後	教		推
実技		スポーツX (ダンス)	1					前・後	教		推
総合		体育指導法III (格技)	2					前	推		
総合		体育指導法IV (器械運動)	2					前	推		
総合		体育指導法V (ダンス・体づくり運動)	2					後	推		
総合		専門演習III	2			◎		前	◎	◎	◎
総合		専門演習IV	2			◎		後	◎	◎	◎
総合		インターンシップII	2					前・後			
総合		キャリア形成II	2			◎		前・後	◎	◎	◎
教職		保健体育科教育法II	2					前	◎教職必修		
教職		保健体育科教育法IV	2					後	◎中学免許必修		
人・社	*	スポーツプランニング演習II	2					前	推		
自・生	*	スポーツ生理学演習	2			◎		前	◎	◎	◎
自・生	*	コーチング演習	2			◎		前	◎	◎	◎
実技	*	野外スポーツIII (ウォータースポーツ)	1					前	推	推	
総合	*	種目別コーチング演習I	2					前			推
自・生	*	スポーツ心理学演習	2			◎		後	◎	◎	◎
自・生	*	スポーツバイオメカニクス演習	2			◎		後	◎	◎	◎
総合	*	体育指導法VI (水泳)	2					後	推		
総合	*	種目別コーチング演習II	2					後			推
人・社		レクリエーション論	2					前	推		
人・社		レクリエーション指導実習I	1					前	推		
人・社		レクリエーション指導実習II	1					後	推		
人・社		スポーツ科学英語	2					前			
人・社		スポーツ経営・管理学	2					後	教※	推	
自・生		発育発達と老化	2					前		推	
自・生		スポーツ生理学	2					前			推
自・生		コーチング概論	2					前	推	推	推
自・生		スポーツバイオメカニクス	2					後	推	推	推
自・生		メンタルマネジメント (含、スポーツ心理学)	2					前	教※	推	推
医系		障がい者スポーツ論	2					前	推		
医系		障がい者スポーツ論実習	1					後	推		
医系		運動器の機能解剖学	2					前		推	
医系		スポーツ医学	2					前	推	推	推
医系		ヘルスプロモーション	2					後		推	
医系		スポーツ歯科医学	2					後	推	推	推
実技		スポーツIII (器械運動)	1			◎		前・後	◎	◎	◎
実技		スポーツIV (陸上)	1			◎		前・後	◎	◎	◎
実技		スポーツV (ラグビーフットボール、サッカー)	1					前・後	教△		推
実技		スポーツVI (ハンドボール、ソフトボール)	1					前・後	教△		推
総合		体育指導法II (球技)	2					後	推		
総合		専門演習I	2			◎		前	◎	◎	◎
総合		専門演習II	2			◎		後	◎	◎	◎
総合		インターンシップI	2					前・後			
総合		キャリア形成I	2			◎		前・後	◎	◎	◎
教職		保健体育科教育法I	2					前	◎教職必修		
教職		保健体育科教育法III	2					後	◎中学免許必修		
人・社	*	チームビルディング演習	2					前			推
実技	*	野外スポーツII (キャンプ)	1					前	推	推	
人・社	*	スポーツプランニング演習I	2					後	推		
総合	*	体育指導法I (陸上)	2					後	推		

保健医療学部健康スポーツ科学科紀要 第4号 (2021年3月発行)

科目区分	新規	授業科目名	単位	開講学年				開講学期	専攻		
				1年次	2年次	3年次	4年次		教員養成	健康・スポーツ マネジメント	競技スポーツ科学
人・社		体育・スポーツ史	2					前	教※		
人・社		体育・スポーツ哲学	2					後	教※		
人・社		リーダーシップ論	2	◎				後	◎	◎	◎
自・生		トレーニング論	2					前	推	推	推
自・生		スポーツ栄養学	2					後	推	推	推
自・生		運動生理学	2					前	教	推	推
自・生		運動学(含、運動方法学)	2					後	教	推	推
自・生		スポーツ科学入門	2	◎				前	◎	◎	◎
医系		解剖・生理学	2					前		推	推
医系		スポーツと薬学	2					後	推	推	推
実技		スポーツI(体づくり運動)	1	◎				前・後	◎	◎	◎
実技		スポーツII(水泳)	1	◎				前・後	◎	◎	◎
総合		基礎演習I	2	◎				前	◎	◎	◎
総合		基礎演習II	2	◎				後	◎	◎	◎
人・社	*	スポーツ・野外教育論	2					後	推	推	
自・生	*	トレーニング演習	2					後		推	推
実技	*	野外スポーツI(スキー)	1					後	推	推	
総合	*	海外演習	2					前・後			

<5区分> *新規科目
 総合
 実技
 人文社会科学(人・社)
 自然生命科学(自・生)
 医歯薬科学(医系)

必修 32 ◎ 必修科目
 選必 2 ○ 選択必修科目
 選択 64 教 教職免許取得の為に必要な科目
 合計 98 推 推奨する科目
 ただし、※印、△印、□印の授業科目については、それぞれ1科目以上修得する